

国道171号幸電線共同溝PFI事業

見積参考資料

令和6年8月

(令和5年10月15日追記)

国土交通省近畿地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法等を十分考慮して、設計、工事、維持管理等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

資料一覧

1. 見積参考資料（調査・設計業務）：事前調査業務（現地踏査、試掘調査）
2. 見積参考資料（調査・設計業務）：詳細設計業務
3. 見積参考資料（調査・設計業務）：調整 [▽] 補 [△] 外業務（設計段階）
4. 見積参考資料（工事業務）：工事業務
5. 見積参考資料（工事業務）：調整 [▽] 補 [△] 外業務（工事段階）
6. 見積参考資料（工事監理業務）
7. 見積参考資料（維持管理業務）：点検・補修業務 日常点検
8. 見積参考資料（維持管理業務）：点検・補修業務 定期点検
9. 見積参考資料（維持管理業務）：台帳作成・管理業務 管理台帳作成
10. 見積参考資料（維持管理業務）：調整 [▽] 補 [△] 外業務（維持管理段階）
11. 参考資料

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道171号幸電線共同溝PFI事業（調査・設計業務）：事前調査業務（現地踏査、試掘調査）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
大阪国道事務所 工務課

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（調査・設計業務）：事前調査業務（現地踏査、試掘調査）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
試掘工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（調査・設計業務）：事前調査業務（現地踏査、試掘調査）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
試掘調査費（夜間）	歩道部	箇所		50		<p>舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；</p> <p>舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；</p> <p>殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕；積込工法区分=機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又（騒音対策必要）；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=17.5km以下；費用の内訳=全ての費用；</p> <p>処分費（m³）</p> <p>床掘り 土質=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；費用の内訳=全ての費用；</p> <p>床掘り 土質=土砂；施工方法=現場制約あり；</p> <p>埋戻し 施工方法=上記以外(小規模)；土質=土砂；費用の内訳=全ての費用；</p> <p>再生クラッシャーラン RC-30</p> <p>表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m³未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；</p>	m m ² m ³ m ³ m ³ m ³ m ³ m ³ m ³ m ²	380 120 5 5 70 110 180 8 120	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（調査・設計業務）：事前調査業務（現地踏査、試掘調査）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
試掘調査費（夜間）	車道部	箇所		53		舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用； 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cmを超え35cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用； 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕；積込工法区分=機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又（騒音対策必要）；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=17.5km以下；費用の内訳=全ての費用； 処分費（m3） 床掘り 土質=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；費用の内訳=全ての費用； 床掘り 土質=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模)；土質=土砂；費用の内訳=全ての費用； 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用； 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=400mm；施工区分=2層施工；材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m m2 m3 m3 m3 m3 m3 m3 m2 m2	240 64 19 19 30 40 60 64 64	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（調査・設計業務）：事前調査業務（現地踏査、試掘調査）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員	(夜間)	式		1		交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	人日 人日	158 158	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）-1； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休2 日の補正=しない			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）-1； 緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しな い；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=しない			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
業務委託料	現地踏査	式		1					

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（調査・設計業務）：事前調査業務（現地踏査、試掘調査）					（当初）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
工事価格		式		1						
消費税相当額		式		1						
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

(事前調査業務)

1. 条件

歩掛及び単価適用年：入札月

材 料 単 価：土木工事標準積算基準書の通りであり、商品名については回答しない。

施 工 時 間：本工事の作業時間帯は、下表に示すとおりとする。

工種または種別・細別	時間帯	摘要
全ての工種	作業開始 22:00	<input type="checkbox"/> 時間的制約を受ける
	作業終了 6:00	<input checked="" type="checkbox"/> 時間的制約を著しく受ける

再資源化等をする施設の名称及び所在地：

特定建設資材 アスファルト塊（掘削）夜間

施設の名称 京都合砕(株)

所在地 京都府京都市伏見区横大路松林町18番地の1、19番地

受入条件 平日・祝日（昼間）：08時00分～17時00分

平日・祝日（夜間）：17時00分～07時00分、土曜、日曜受入不可

最大寸法の制限：コン塊、アス塊等は50×50cm以下に限る。ヒビ割れ防止シートの混入は不可。

(除去の必要がある場合は別途費用が必要)

2. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

見積参考資料（業務委託料）

業種：設計業務

項目・工種・種別・細別	単位	数量	参考事項		
			名称	単位	数量
事前調査業務	式	1			
事前調査業務	式	1			
事前調査業務	式	1			
現地踏査	回	1	<1回当り> 現地踏査	回	1
直接原価（その他原価除く）	式	1			
その他原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
業務価格	式	1			

1) 現地踏査

現地踏査は、1回を想定している。

①現地踏査

1回当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
現地踏査			2.00		2.00		

(土木設計業務)

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 道路附属物設計

交差点照明施設詳細設計

1箇所当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
現地踏査				0.90	0.30	1.60	
設計計画			0.30				
設計条件の確認・交差点照明施設設計						1.00	
設計図					0.80	2.20	
数量計算				0.50	1.40		
照査			0.60	0.50	0.30		

※1 本歩掛は、交差点照明詳細設計の修正によるものとする。

※2 報告書作成は、設計計画から照査の歩掛に含まれるものとする。

2) 電線共同溝設計

電線共同溝詳細設計

1箇所当り

	直接人件費						直接経費	備考	
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	電子計算機使用料		
設計計画	1.60	1.60	1.60	1.60	0.80		2%		
全体計画	現地踏査		0.80	2.40	1.60	0.80		2%	
	設計条件の整理・検討		2.20	1.40	2.20	0.70	1.40	2%	
	平面・縦断線形設計		1.40	2.90	4.30	4.30	5.00	2%	
	数量計算			2.20	4.30	5.00	7.00	2%	
管路部設計			2.20	3.60	3.60	5.00		2%	
特殊部設計			3.60	3.60	3.60	6.50		2%	
地上機器部設計			2.90	2.90	2.90	2.20		2%	
施工計画		1.40	1.40	2.20	0.70			2%	
関係機関との協議資料作成		1.60	1.60	4.00	2.40	2.40		2%	
照査		1.60	2.40	4.80	4.80			2%	
報告書作成		1.60	3.20	4.00	0.80	3.20		2%	

※1 本歩掛は、電線共同溝詳細設計の修正によるものとする。

※2 電子計算機使用料には、直接人件費の合計額に対する率（%）を記載してください。

※3 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。

※4 本地区は、市街地（DID地区）であり、市街地以外等の延長は0mとする。

3) 共通

①打合せ

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-1 打合せ等 を適用
 なお、打合せ回数は4回を見込んでいる。

②関係機関打合せ協議

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-1 打合せ等 を適用

③合同現地踏査

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-2 その他 を適用

④照査技術者による報告

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-2 その他 を適用

⑤公開成果品作成

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-3 公開成果品作成 を適用

4) 調整マネジメント業務（設計段階）

①計画準備

1式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
計画準備		1.00	3.00				

②調整監理

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
調整監理		23.40	111.00		111.00		

③打合せ

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
打合せ			6.00		6.00		

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道 1 7 1 号幸電線共同溝 P F I 事業（工事業務）：工事業務

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第 1 条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
大阪国道事務 工務課

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
土留・仮締切工	(夜間)	式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)		式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板購入(LSP-I型(中古品)) H=2.0m t=4mm 軽量鋼矢板購入(LSP-I型(中古品)) H=2.5m t=4mm 軽量鋼矢板購入(LSP-I型(中古品)) H=3.0m t=4mm 鋼製切梁ボルト 450~700(程度) ※日 鋼製切梁ボルト 750~1250(程度) ※日 鋼製切梁ボルト 1200~1800(程度) ※日 アルミ腹起し 幅110~120 高さ120~130×4000 スクラップ ヘビーH1	m t t t 本 本 本 本 t	2,769 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	
仮舗装工	(夜間)	式		1					
路盤	流用土	式		1		埋戻し 施工方法=上記以外(小規模); 土質=土砂; 費用の内訳=全ての費用;	m ³	210	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	式		1		基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m ²	3,390	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	式		1		基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m ; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m ; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	4	m 2	4
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	式		1		表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m ; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	3,720		
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 30mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	式		1		表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 m m ; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	120		
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	式		1		表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m ; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1,260		
交通管理工	(夜間)	式		1						
交通誘導警備員		式		1		交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	人日	※	人日	※

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破碎工	(夜間)	式		1					
殻運搬	アスファルト殻(掘削)	m3		1,097		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝工） 積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=22.5km以下；	m3	1	
殻処分	アスファルト殻(掘削)	m3		1,097		< 1 m3当り > 処分費（m3）	m3	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m		4,470		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cmを超え30cm以下	m		7,330		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下(電線共同溝)	m2		1,880		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込（電線共同溝工）	m2	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cmを超え35cm以下(電線共同溝)	m2		3,320		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込 アスファルト舗装版 15cmを超え35cm以下	m2	1	
開削土工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
掘削工	(夜間)	式		1					
開削掘削	土砂	式		1		床掘り（電線共同溝工）	m ³	5,500	
埋戻し工	(夜間)	式		1					
埋戻し・締固め	流用土	式		1		埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=土砂；	m ³	340	
埋戻し・締固め	中埋砂	式		1		埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=中埋砂；	m ³	2,900	
埋戻し・締固め	再生粒度調整砕石 (RM-25)	式		1		埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=土砂； 再生粒度調整砕石 RM-25	m ³	150	
残土処理工	(夜間)	式		1					
土砂等運搬		式		1		運搬（電線共同溝工） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下；	m ³	4,890	
残土等処分		式		1		残土等処分	m ³	4,890	
電線共同溝工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路工(管路部)	(夜間)	式		1					
埋設管路	電線共同溝用管 (通信用)直管 径150mm	m		648		< 1 m当り > 管路材設置：材料VPφ150 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (通信用)曲管 径150mm	m		275		< 1 m当り > 管路材設置：材料VPφ150 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (通信用)直管 径82mm	m		418		< 1 m当り > 管路材設置：材料HIVEφ82 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (通信用)曲管 径82mm	m		254		< 1 m当り > 管路材設置：材料HIVEφ82 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (通信用)直管 径75mm	m		4,049		< 1 m当り > 管路材設置：材料PVφ75 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (通信用)曲管 径 75mm	m		1,660		< 1 m当り > 管路材設置：材料PVφ75 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (通信用)直管 径50mm	m		1,540		< 1 m当り > 管路材設置：材料PVφ50 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路	電線共同溝用管 (通信用) 曲管 径50mm	m		706		< 1 m当り > 管路材設置: 材料PVφ50 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (電力用) 直管 径 100mm	m		6,253		< 1 m当り > 管路材設置: 材料ECVPφ100 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (電力用) 曲管 径100mm	m		3,043		< 1 m当り > 管路材設置: 材料ECVPφ100 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (電力用) 直管 径 75mm	m		986		< 1 m当り > 管路材設置: 材料ECVPφ75 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (電力用) 曲管 径75mm	m		284		< 1 m当り > 管路材設置: 材料ECVPφ75 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (電力系通信用) 直 管 径 100mm	m		802		< 1 m当り > 管路材設置: 材料ECVPφ100 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (電力系通信用) 曲管 径100mm	m		265		< 1 m当り > 管路材設置: 材料ECVPφ100 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 (電力系通信用) 直 管 径 75mm	m		1,857		< 1 m当り > 管路材設置: 材料ECVPφ75 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力系通信用） 曲管 径 75mm	m		614		< 1 m当り > 管路材設置：材料ECVP φ75 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力系通信用）直 管 径 50mm	m		389		< 1 m当り > 管路材設置：材料PV φ50 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力系通信用） 曲管 径 50mm	m		274		< 1 m当り > 管路材設置：材料PV φ50 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （通信用）直管 径75mm	m		470		< 1 m当り > 管路材設置：材料PV φ75 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （通信用）曲管 径75mm	m		234		< 1 m当り > 管路材設置：材料PV φ75 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （通信用）直管 径 50mm	m		1,967		< 1 m当り > 管路材設置：材料PV φ50 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （通信用）曲管 径50mm	m		1,128		< 1 m当り > 管路材設置：材料PV φ50 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力用）直管 径 125mm	m		101		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ125 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力用）曲管 径125mm	m		45		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ125 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力用）直管 径100mm	m		1,070		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ100 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力用）曲管 径100mm	m		621		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ100 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力用）直管 径75mm	m		237		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ75 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力用）曲管 径75mm	m		173		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ75 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力系通信用） 直管 径 100mm	m		66		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ100 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力系通信用） 曲管 径 100mm	m		44		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ100 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管 （電力系通信用） 直管 径 75mm	m		89		< 1 m当り > 管路材設置：材料CCVP φ75 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 カラ鉄線 2mm	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路	電線共同溝用管 (電力系通信用) 曲管径 75mm	m		95		< 1 m当り > 管路材設置: 材料CCVP φ75 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管(電力系通信用)直管径 50mm	m		147		< 1 m当り > 管路材設置: 材料PV φ50 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管(電力系通信用)曲管径 50mm	m		102		< 1 m当り > 管路材設置: 材料PV φ50 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置; 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管(通信用)UC-PS管径 75mm	m		72		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(UC-PS管) 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管(通信用)UC-PS管径 50mm	m		118		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(UC-PS管) 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管(電力用)KGP ^h ント管径 125mm	m		4		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(鋼管) 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管(電力用)KGP ^h ント管径 100mm	m		54		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(鋼管) 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管(電力系通信用)KG P ^h ント管径 100mm	m		5		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(鋼管) 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用管(電力系通信用)KG P ^h ント管径 80mm	m		11		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(鋼管) 呼び線 カラー鉄線 2mm	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 150mm用	個		38		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼150 継手管樹接続用 通信用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 82mm用	個		70		< 1 個当たり > HIVE管 呼82 継手管樹接続用 通信用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 75mm	個		276		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼75 継手管樹接続用 通信用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 50mm用	個		126		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼50 継手管樹接続用 通信用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 100mm用	個		546		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管（ヒート軟化点温度80℃品） 呼100 継手管樹接続用 電力用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 75mm用	個		37		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管（ヒート軟化点温度80℃品） 呼75 継手管樹接続用 電力用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径100mm用	個		29		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼100 継手管樹接続用 通信用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径75mm用	個		101		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼75 継手管樹接続用 通信用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径50mm用	個		28		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼50 継手管樹接続用 通信用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 75mm	個		14		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼75 継手管樹接続用 通信用	個	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 50mm	個		138		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管 呼50 継手管樹接続用 通信用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 125mm用	個		2		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管（ヒート軟化点温度80℃品） 呼125 継手管樹接続用 電力用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 100mm用	個		55		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管（ヒート軟化点温度80℃品） 呼100 継手管樹接続用 電力用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 75mm用	個		45		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管（ヒート軟化点温度80℃品） 呼75 継手管樹接続用 電力用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径100mm用	個		3		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管（ヒート軟化点温度80℃品） 呼100 継手管樹接続用 電力用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径75mm用	個		7		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管（ヒート軟化点温度80℃品） 呼75 継手管樹接続用 電力用	個	1	
継手管樹接続用	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径50mm	個		17		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管 呼50 継手管樹接続用 通信用	個	1	
FA分岐管	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 150mm×50mm用	組		19		< 1 組当り > 電線共同溝用合成樹脂管 分岐管 φ150×50 ステンレスパ ンﾄﾞ2個付	組	1	
異種管継手	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 75mm～UC-PS管 呼び径75mm用	個		14		< 1 個当り > 異種管継手 呼75×75 PV管～UC-PS管	個	1	
異種管継手	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 50mm～UC-PS管 呼び径50mm用	個		33		< 1 個当り > 異種管継手 呼50×50 PV管～UC-PS管	個	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
止めキャップ	電線共同溝用管 (通信用) 呼び径 75mm用	個		14		< 1 個当たり > 止めキャップ 通信用(UC-PS管) 呼び径75mm用	個	1	
止めキャップ	電線共同溝用管 (通信用) 呼び径 50mm用	個		33		< 1 個当たり > 止めキャップ 通信用(UC-PS管) 呼び径50mm用	個	1	
鉄製キャップ	電線共同溝用管 (電力用) 呼び径 125mm用	個		2		< 1 個当たり > 鉄製キャップ 電力用(KGP) 呼び径125mm用	個	1	
鉄製キャップ	電線共同溝用管 (電力用) 呼び径 100mm用	個		33		< 1 個当たり > 鉄製キャップ 電力用(KGP) 呼び径100mm用	個	1	
鉄製キャップ	電線共同溝用管 (電力系通信用) 呼び径100mm用	個		3		< 1 個当たり > 鉄製キャップ 電力用(KGP) 呼び径100mm用	個	1	
鉄製キャップ	電線共同溝用管 (電力系通信用) 呼び径80mm用	個		7		< 1 個当たり > 鉄製キャップ 電力用(KGP) 呼び径80mm用	個	1	
支持金具	電線共同溝用管 (通信用) 呼び径 75mm用	個		28		< 1 個当たり > 支持金具 通信用(UC-PS管) 呼び径75mm用	個	1	
支持金具	電線共同溝用管 (通信用) 呼び径 50mm用	個		66		< 1 個当たり > 支持金具 通信用(UC-PS管) 呼び径50mm用	個	1	
自在固定バンド	ステンレス製 1.2×40 φ350～φ410用	個		94		< 1 個当たり > 自在固定バンド ステンレス製 1.2×40 φ350～410	個	1	
管枕	電線共同溝用管 (通信用) 呼び径 150mm用	個		552		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管枕 φ150 通信用	個	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管枕	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 82mm用	個		451		< 1 個当り > HIVE管管枕 呼φ125	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 75mm用	個		3,419		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼75用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 50mm用	個		1,382		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼50用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 100mm用	個		5,819		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼100用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 75mm用	個		1,049		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼75用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径100mm用	個		630		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼100用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径75mm用	個		1,052		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼75用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力通信用）呼 び径50mm用	個		253		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼50用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 75mm用	個		443		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼75用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （通信用）呼び径 50mm用	個		2,079		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼50用	個	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管枕	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 125mm用	個		84		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 φ125 電力用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 100mm用	個		930		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼100用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力用）呼び径 75mm用	個		267		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼75用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力通信用）呼 び径100mm用	個		155		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼100用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力通信用）呼 び径75mm用	個		119		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼75用	個	1	
管枕	電線共同溝用管 （電力系通信用） 呼び径50mm用	個		156		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼50用	個	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=600 折込率2倍	m		972		< 1 m当り > 電線共同溝用埋設表示シート W=600mm 2倍	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=400 折込率2倍	m		2,603		< 1 m当り > 電線共同溝用埋設表示シート W=400mm 2倍	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=300 折込率2倍	m		649		< 1 m当り > 電線共同溝用埋設表示シート W=300mm 2倍	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=150 折込率2倍	m		587		< 1 m当り > 電線共同溝用埋設表示シート W=150mm 2倍	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=600 折込率2倍	m		337		< 1 m当り > 電線共同溝用埋設表示シート W=600mm 2倍	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=400 折込率2倍	m		274		< 1 m当り > 電線共同溝用埋設表示シート W=400mm 2倍	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=300 折込率2倍	m		596		< 1 m当り > 電線共同溝用埋設表示シート W=300mm 2倍	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=150 折込率2倍	m		246		< 1 m当り > 電線共同溝用埋設表示シート W=150mm 2倍	m	1	
管路防護工	(夜間)	式		1					
目地版	瀝青繊維質目地版 厚10mm	m2		0.9		< 1 m2当り > 目地版 1工事当り使用量=30m2未満；目地版の種類=瀝青繊維質目地版t=10；	m2	1	
基礎材	再生クラッシュラン RC-40 t=150mm	m2		11		< 1 m2当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m2	1	
型枠	一般型枠	式		1		型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物；	m2	9	
防護コンクリート	超速硬コンクリート 3h 圧縮強度240kg/cm	m3		3		< 1 m3当り > コンクリート 構造物種別=小型構造物；打設工法=人力打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；	m3	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
セラミック防護板	t=8mm	m		20		< 1 m当り > セラミック防護板 t=8mm	m	1	
鋼板	SS400 t=16mm	t		0.9		< 1 t当り > 鋼板 SS400 t=16mm	t	1	
プレキャストボックス工(特殊部)	(夜間)	式		1					
プレキャストボックス	E枠1型 950×1900×1100	個		3		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下； 碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0； 費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉； 費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外； ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外； ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m ²	2.87	
							m ³	0.066	
							個	1	
							個	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	E枠2型 950×3000 ×1100	個		10		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下； 碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0； 費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉； 費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外； ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外； ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m2	4.369	
プレキャストボックス	E枠5型 1000×300 0×1800	個		18		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下； 碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0； 費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉； 費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外； ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m2	4.747	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	E枠7型 950×3000 ×1800	個		1		基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下；ラフテレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフテレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m 2	4.506	
プレキャストボックス	接続枠1型 950×1650×550	個		15		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフテレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフテレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m 2	2.654	
プレキャストボックス	接続枠2-1型 630×2000×750	個		12		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフテレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフテレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m 2	2.416	
							m 3	0.053	
							個	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	接続榫3型 500(800)×1200×800(1200)	個		1		基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m 2	1.345	
プレキャストボックス	RT榫1型 1200×2200×1500	個		4		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m 2	3.922	
プレキャストボックス	RT榫2型 1200×2200×1500	個		14		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m 2	3.922	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	RT榊3型 950×300×1500	個		18		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m ²	4.369	
プレキャストボックス	RT榊4型 1400×300×1500	個		3		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m ²	6.123	
プレキャストボックス	RT榊5型 1400×300×1500	個		4		< 1 個当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.225 無；	m ²	6.123	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
蓋	鉄蓋(車道用) φ880	組		18		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 鉄蓋(黒蓋) 車道用 φ880 T-25 首ブロック φ880×150 レゾソコクリート製	組	1	
蓋	鉄蓋(車道用) φ880	組		1		蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 鉄蓋(黒蓋) 車道用 φ880 T-25 首ブロック φ880×200 レゾソコクリート製	組	1	
蓋	鉄蓋(歩道用) 600×1200	組		16		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 鉄蓋 歩道用 600×1200 受枠含む 電線共同溝蓋用シリンダー錠 ステンレス製 φ20	組	1	
蓋	鉄蓋(歩道用) 630×2000	組		12		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 鉄蓋 歩道用 630×2000 受枠含む	組	1	
蓋	鉄蓋(歩車道兼用) φ750	組		4		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 鉄蓋 歩車道兼用 φ750 電線共同溝蓋用シリンダー錠 ステンレス製 φ20 首ブロック (レゾソコクリート製) φ750×100	組	1	
蓋	鉄蓋(歩車道兼用) φ750	組		39		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 鉄蓋 歩車道兼用 φ750 電線共同溝蓋用シリンダー錠 ステンレス製 φ20 首ブロック (レゾソコクリート製) φ750×100	組	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
付帯設備工		式		1					
ハトホル工	(夜間)	式		1					
ハトホル設置 (信号用)	500×500×550 歩 道用	基		26		< 1 基当たり > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類= 再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用； プレキャストマンホール 作業区分=据付；製品質量=2000kg/基以下；基礎碎 石=無しまたは円形断面以外；費用の内訳=全ての費 用；	m ²	0.64	
ハトホル設置 (照明用)	500×500×550 歩 道用	基		11		< 1 基当たり > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類= 再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用； プレキャストマンホール 作業区分=据付；製品質量=2000kg/基以下；基礎碎 石=無しまたは円形断面以外；費用の内訳=全ての費 用；	m ²	0.64	
ハトホル設置 (照明用)	600×600×630 車 道用	基		7		< 1 基当たり > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類= 再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用； プレキャストマンホール 作業区分=据付；製品質量=2000kg/基以下；基礎碎 石=無しまたは円形断面以外；費用の内訳=全ての費 用；	m ²	0.922	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
道路修繕		式		1					
道路土工		式		1					
掘削工	(夜間)	式		1					
掘削	土砂	式		1		床掘り 土質=土砂；施工方法=平均施工幅1m以上2m未満；土留方式の種類=無し；障害の有無=無し；	m ³	730	
残土処理工	(夜間)	式		1					
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		土砂等運搬 土砂等発現場=標準；積込機種・規格=バックホ山積0.8m ³ (平積0.6m ³)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=7.0km以下；	m ³	5	
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		土砂等運搬 土砂等発現場=標準；積込機種・規格=バックホ山積0.45m ³ (平積0.35m ³)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=7.0km以下；	m ³	730	
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		土砂等運搬 土砂等発現場=小規模；積込機種・規格=バックホ山積0.28m ³ (平積0.2m ³)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=7.0km以下；	m ³	9	

見積参考資料

工事名		国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
残土等処分			式		1		残土等処分	m ³	740
積込(ルース)		土砂 土量50,000m ³ 未満	式		1		積込(ルース) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m ³ 未満;	m ³	5
舗装工			式		1				
アスファルト舗装工 (本線車道部)		(夜間)	式		1				
下層路盤(車道・路肩部)		再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 200mm	m ²		3,270		< 1 m ² 当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=200 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-30; 費用の内訳=全ての費用 ;	m ²	1
上層路盤(車道・路肩部)		再生粒度調整砕石 RM-30 仕上り厚 200mm	m ²		3,270		< 1 m ² 当り > 上層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=200 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生粒度調整砕石 RM-30; 費用の内訳=全ての費用;	m ²	1
上層路盤(車道・路肩部)		再生瀝青安定処理 材(25) 仕上り厚 90mm 1.4m未満	m ²		3,270		< 1 m ² 当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=90 mm; 瀝青材料種類=グライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m ²	1
アスファルト舗装工 (乗入部A型)		(夜間)	式		1				

見積参考資料

工事名		国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務				（ 当 初 ）		工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名 称			単 位	数 量
路盤(車道・路肩部)		再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 250mm	m2				< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=250 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-30; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1		
アスファルト舗装工 (乗入部B型)		(夜間)	式			1					
路盤(車道・路肩部)		再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 250mm	m2			117	< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=250 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-30; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1		
アスファルト舗装工 (乗入部C型)		(夜間)	式			1					
路盤(車道・路肩部)		再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 300mm	m2			4	< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=300 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-30; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1		
アスファルト舗装工 (支道車道部(A))		(夜間)	式			1					
下層路盤		再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 300mm	m2			132	< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=300 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-30; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1		

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整碎石 RM-25 仕上り厚 150mm	m2		132		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=路盤材(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整碎石 RM-25 仕上り厚 150mm	m2		132		< 1 m2当り > 上層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生粒度調整碎石 RM-25; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン (20) 舗装厚50mm 1.4m未満(1層当り 平均仕上り厚50mm 以下)	m2		132		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種 類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
アスファルト舗装工 (支道車道部(B))	(夜間)	式		1					
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 250mm	m2		75		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=250 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-30; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	高炉スラグ 水硬性 粒度調整 HMS25-0 仕上り厚 200mm	m2		75		< 1 m2当り > 上層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=200 mm; 施工区分=2層施工; 材料=路盤材(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		75		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
中間層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		75		< 1 m2当り > 中間層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
アスファルト舗装工(支道車道部(C))	(夜間)	式		1					
下層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-25 仕上り厚 150mm	m2		9		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=路盤材(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-25 仕上り厚 150mm	m2		9		< 1 m2当り > 上層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生粒度調整砕石 RM-25; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		9		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
アスファルト舗装工 (支道車道部(D))	(夜間)	式		1					
下層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-25 仕上り厚 150mm	m2		92		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=路盤材(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-25 仕上り厚 150mm	m2		92		< 1 m2当り > 上層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生粒度調整砕石 RM-25; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
アスファルト舗装工 (支道乗入部(A))	(夜間)	式		1					
路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-25 仕上り厚 250mm	m2		5		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=250 mm; 施工区分=2層施工; 材料=路盤材(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
ブロック舗装工 点状(A)	(夜間)	式		1					
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-3 0 仕 上り厚 100m m	m2		24		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=100 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
特殊ブロック舗装	設置 30cm×30cm	m2		24		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置; ブロック規格=30cm×30cm;	m2	1	
ブロック舗装工 線状(A)	(夜間)	式		1					

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 100mm	m2		51		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=100 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
特殊ブロック舗装	設置 30cm×30cm	m2		51		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置; ブロック規格=30cm×30cm;	m 2	1	
ブロック舗装工 線状(B)	(夜間)	式		1					
特殊ブロック舗装	設置 30cm×30cm	m2		7		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置; ブロック規格=30cm×30cm;	m 2	1	
排水構造物工		式		1					
側溝工	(夜間)	式		1					
街渠A	500×220/250 18-8-40(高炉)	m		875		< 10 m当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=小型構造物;	m 2 m 3 m 2	5 1.175 2.5	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
街渠B	500×240/250 18-8-40(高炉)					< 10 m当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 碎石の種類=再生クラッシュ 40~0; 費用の内訳=全ての費用; コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=小型構造物;	m ²	5	
		m		97					
管渠工	(夜間)								
		式		1					
暗渠排水管	VU-200					< 10 m当り > 暗渠排水管 作業区分=据付; 管種別=直管; 呼び径=200~400mm; 費用の内訳=全ての費用; フィルター材 フィルター材の種類=各種; 費用の内訳=全ての費用;	m	10	
		m		4			m ³	2.962	
暗渠排水管	VU-300					< 10 m当り > 暗渠排水管 作業区分=据付; 管種別=直管; 呼び径=200~400mm; 費用の内訳=全ての費用; フィルター材 フィルター材の種類=各種; 費用の内訳=全ての費用;	m	10	
		m		2			m ³	3.35	
鉄筋コンクリート台付管	φ300					< 10 m当り > 鉄筋コンクリート台付管 作業区分=据付; 管径=300mm; 1個当りの管長さ(実数入力)=2 m/個; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	m	10	
		m		116			m ³	0.072	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
集水桝・マンホール工	(夜間)	式		1					
現場打ち街渠桝 A型	18-8-40(高炉)	箇所		3		< 1 箇所当たり > 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) コンクリート規格=各種; 1箇所当たりコンクリート使用量=0.40m3 を超え0.43m3以下; コンクリート打設工法=パックホ(クレーン機 能付)打設; 養生工の種類=一般養生・特殊養生(練炭);	箇所	1	
現場打ち街渠桝 B1型	18-8-40(高炉)	箇所		2		< 1 箇所当たり > 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) コンクリート規格=各種; 1箇所当たりコンクリート使用量=0.46m3 を超え0.49m3以下; コンクリート打設工法=パックホ(クレーン機 能付)打設; 養生工の種類=一般養生・特殊養生(練炭);	箇所	1	
現場打ち街渠桝 B2型	18-8-40(高炉)	箇所		5		< 1 箇所当たり > 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) コンクリート規格=各種; 1箇所当たりコンクリート使用量=0.49m3 を超え0.52m3以下; コンクリート打設工法=パックホ(クレーン機 能付)打設; 養生工の種類=一般養生・特殊養生(練炭);	箇所	1	
現場打ち街渠桝 B3型	18-8-40(高炉)	箇所		2		< 1 箇所当たり > 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) コンクリート規格=各種; 1箇所当たりコンクリート使用量=0.52m3 を超え0.55m3以下; コンクリート打設工法=パックホ(クレーン機 能付)打設; 養生工の種類=一般養生・特殊養生(練炭);	箇所	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
現場打ち街渠樹 B4型	18-8-40(高炉)	箇所		5		< 1 箇所当り > 現場打ち集水樹・街渠樹(本体) コンクリート規格=各種; 1箇所当りコンクリート使用量=0.58m3 を超え0.61m3以下; コンクリート打設工法=パック砕(クレーン機 能付)打設; 養生工の種類=一般養生・特殊養生(練炭);	箇所	1	
蓋	グレーチング蓋 400× 500用 T-25 110° 開閉式(流用品)	枚		3		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種 類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時 間的制約の有無=著しく有り; 施工箇所における補 正=無し;	枚	1	
蓋	グレーチング蓋 500× 500用 T-25 110° 開閉式	枚		2		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種 類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時 間的制約の有無=著しく有り; 施工箇所における補 正=無し;	枚	1	
蓋	グレーチング蓋 600× 500用 T-25 110° 開閉式	枚		5		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種 類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40を超え170kg/枚 以下; 時間的制約の有無=著しく有り; 施工箇所に おける補正=無し;	枚	1	
蓋	グレーチング蓋 700× 500用 T-25 110° 開閉式	枚		2		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種 類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40を超え170kg/枚 以下; 時間的制約の有無=著しく有り; 施工箇所に おける補正=無し;	枚	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
蓋	グレーチング蓋 800×500用 T-25 110° 開閉式	枚		5		< 1 枚 当 り > 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下；時間的制約の有無=著しく有り；施工箇所における補正=無し；	枚	1	
縁石工		式		1					
縁石工	(夜間)	式		1					
歩車道境界ブロック (A)	180/205×250×60 0 流用品	m		730		< 1 m 当 り > 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置；ブロック規格=B種(180/205×250×60)；基礎碎石規格=再生クラッシュラン RC-40；均し基礎コンクリート規格=生コンクリート(各種)；養生工の有無=有り；	m	1	
歩車道境界ブロック (B)	180/190×100×60 0 流用品	m		122		< 1 m 当 り > 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置；ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満)；基礎碎石規格=再生クラッシュラン RC-40；均し基礎コンクリート規格=生コンクリート(各種)；養生工の有無=有り；	m	1	
歩車道境界ブロック (C)	180/190×100×60 0 流用品	m		115		< 1 m 当 り > 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置；ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満)；基礎碎石規格=再生クラッシュラン RC-40；均し基礎コンクリート規格=生コンクリート(各種)；養生工の有無=有り；	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック (D)	180/205~190×250~100×600 流用品	m		27		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置; ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満); 基礎碎石規格=再生クラッシュラン RC-40; 均し基礎コンクリート規格=生コンクリート(各種); 養生工の有無=有り;	m	1	
地先境界ブロック (乗入境界石)	180×100×600 流用品	m		15		< 1 m当り > 地先境界ブロック 作業区分=再利用設置; ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満); 基礎碎石規格=再生クラッシュラン RC-40; 均し基礎コンクリート規格=生コンクリート(各種); 養生工の有無=有り;	m	1	
防護柵工		式		1					
路側防護柵工	(夜間)	式		1					
カーブレール	塗装品 Gr-C-4E 2 1m未満 曲線部補正無 流用品	m		3		< 1 m当り > 防護柵設置工(材料費を除く手間のみ) 施工区分=土中建込; 規格・仕様=Gr-C-4E 塗装品; 施工規模による加算=21m未満; 夜間作業の補正=有; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 曲線部補正=無;	m	1	
防止柵工	(夜間)	式		1					

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
転落(横断)防止柵	柵高 0.8m プレキャストコンクリートブロック建込 ダークブラウン	m		687		< 1 m 当り > 防護柵（横断・転落防止柵）設置工 施工区分=プレキャストコンクリートブロック建込；防護柵種類=ビーム式・ハネ式；支柱間隔=3m；施工規模による加算=100m以上(標準)；時間的制約を受ける場合の補正=有；夜間作業の補正=有；	m	1	
区画線工		式		1					
区画線工	(夜間)	式		1					
熔融式区画線	熔融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		290		< 1 m 当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=熔融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=実線 15cm；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=有り；未供用区間の場合の補正=無し；熔融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
熔融式区画線	熔融式手動 実線 20cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		52		< 1 m 当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=熔融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=実線 20cm；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=有り；未供用区間の場合の補正=無し；熔融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1	

見積参考資料

工事名		国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
溶融式区画線		溶融式手動 実線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		2		< 1 m 当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=実線 30cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1
溶融式区画線		溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		680		< 1 m 当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=破線 15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1
溶融式区画線		溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		7		< 1 m 当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=破線 30cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		380		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=溶融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=ゼブラ 45cm; ; 時間的制約の有無=著しく有り; 塗布厚=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=有り; 未供用区間の場合の補正=無し; 溶融式塗料規格=含有量15~18%; 塗料区分=白; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
溶融式区画線	溶融式手動 矢印・ 記号・文字 15cm換 算 厚1.5mm 排水 性舗装有 白色	m		1,630		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=溶融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=矢印・記号・ 文字 15cm換算; 時間的制約の有無=著しく有り; 塗 布厚=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=有 り; 未供用区間の場合の補正=無し; 溶融式塗料規格 =含有量15~18%; 塗料区分=白; プライマー規格= アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
溶融式区画線	溶融式手動 矢印・ 記号・文字 15cm換 算 厚1.5mm 排水 性舗装有 黄色	m		200		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=溶融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=矢印・記号・ 文字 15cm換算; 時間的制約の有無=著しく有り; 塗 布厚=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=有 り; 未供用区間の場合の補正=無し; 溶融式塗料規格 =含有量15~18%; 塗料区分=黄 鉛・クロムフリー; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内 訳=全ての費用;	m	1	
溶融式区画線	溶融式手動 自転 車マーク 厚1.5mm 排 水性舗装有 白色	箇所		1		区画線設置(4週8休以上) 溶融式手動 自転車マーク 厚1.5mm 排水性舗装有 白	箇所	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
熔融式区画線	熔融式手動 追突注意(小) 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	箇所		2		< 1 箇所当り > 区画線設置(4週8休以上) 熔融式手動 追突注意(小) 厚1.5mm 排水性舗装有 白	箇所	1	
熔融式区画線	熔融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		190		< 1 m 当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=熔融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=実線 15cm; 時間的制約の有無=著しく有り; 塗布厚=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=無し; 未供用区間の場合の補正=無し; 熔融式塗料規格=含有量15~18%; 塗料区分=白; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
熔融式区画線	熔融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		13		< 1 m 当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=熔融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=破線 15cm; 時間的制約の有無=著しく有り; 塗布厚=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=無し; 未供用区間の場合の補正=無し; 熔融式塗料規格=含有量15~18%; 塗料区分=白; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
熔融式区画線	熔融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		270		< 1 m 当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=熔融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=ゼブラ 45cm; 時間的制約の有無=著しく有り; 塗布厚=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=無し; 未供用区間の場合の補正=無し; 熔融式塗料規格=含有量15~18%; 塗料区分=白; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業(工事業務) : 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
溶融式区画線	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		55		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=溶融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=矢印・記号・文字 15cm換算; 時間的制約の有無=著しく有り; 塗布厚=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=無し; 未供用区間の場合の補正=無し; 溶融式塗料規格=含有量15~18%; 塗料区分=白; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
溶融式区画線	溶融式手動 矢羽根型 750×1500 厚1.5mm 排水性舗装無 青色	箇所		10		区画線設置(手間のみ)(4週8休以上) 溶融式手動 矢羽根 750×1500 青 区画線塗料 溶融型 カラー色(青) ガラスビーズ 0.106~0.850mm 接着用プライマー 区画線用 撒布骨材 砕石シカ 40~80メッシュ	箇所 kg kg kg	10 33.75 0.85 1.13 0.85	
区画線	溶融貼付式 ビクトグラム(矢印・自転車記号) 幅75cm 白色	箇所		1		区画線設置(4週8休以上) 溶融貼付式 ビクトグラム 幅75cm 白 有 有 厚1.5mm 無	箇所	1	
道路付属施設工		式		1					
作業土工	(夜間)	式		1					
床掘り	土砂	式		1		床掘り 土質=土砂; 施工方法=標準; 土留方式の種類=無し; 障害の有無=無し;	m ³	110	
埋戻し	土砂	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅4m以上;	m ³	100	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
照明工	(夜間)	式		1					
照明柱基礎	スパイラルダクトφ500 L=2.0m	基		21		<p>< 1 基当り ></p> <p>基礎掘削及びスパイラルダクト立込作 業種別=照明灯基礎 500φ2m以下； スパイラルダクト（亜鉛引き）直管 φ500mm ×0.6t コンクリート 構造物種別=小型構造物；打設工法=バックホウ（クレーン機 能付）打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般 養生；費用の内訳=全ての費用；</p> <p>基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類= 再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； 照明柱用アンカーボルト □250mm φ25mm 915mm メッキダブルボ ルト・ワッシャー・ナットを含む</p>	基 m m3 m2 組	1 2 0.393 0.196 1	
照明柱基礎	ホールアンカー-A 200×200 L=3000	基		1		<p>< 10 基当り ></p> <p>抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜（同日施工回数3回以上） 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=著しく有 り； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭） コンクリート 構造物種別=小型構造物；打設工法=人力打設；コンク リート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運 搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；</p> <p>型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物；</p>	回 t m3 m2	10 2.466 1.08 7.2	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項								
						名称	単位	数量						
照明柱基礎	ボールアンカーC 200×200 L=3000	基		1		< 10 基 当 り > 抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(同日施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り； 時間的制約の有無=著しく有り； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭) コンクリート 構造物種別=小型構造物； 打設工法=人力打設； コンクリート規格=各種； 養生工の種類=一般養生； 現場内小運搬の有無=無し； 費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠； 構造物の種類=小型構造物；	回	10	t	2.724	m 3	1.56	m 2	10
柱上機器柱基礎	ケーソン	基		3		< 1 基 当 り > コ ンクリート 構造物種別=小型構造物； 打設工法=バックホウ(クレーン機能付)打設； コンクリート規格=各種； 養生工の種類=一般養生； 費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠； 構造物の種類=小型構造物； ア ンカーボルト □550mm M30×1130 メッキ	m 3	2.6	m 2	10.4	組	4		
柱上機器柱基礎	ボールアンカーD 400×400 L=6000	基		13		< 10 基 当 り > 抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(同日施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り； 時間的制約の有無=著しく有り； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭) コンクリート 構造物種別=小型構造物； 打設工法=人力打設； コンクリート規格=各種； 養生工の種類=一般養生； 現場内小運搬の有無=無し； 費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠； 構造物の種類=小型構造物；	回	10	t	13.615	m 3	5.12	m 2	25.6

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
柱上機器柱基礎	ホールアンカーE 400×400 L=5500	基		5		< 10基当り > 抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(同日施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り； 時間的制約の有無=著しく有り； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭) コンクリート 構造物種別=小型構造物； 打設工法=人力打設； コンクリート規格=各種； 養生工の種類=一般養生； 現場内小運搬の有無=無し； 費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠； 構造物の種類=小型構造物；	回	10	t m ³	12.885 3.52
柱上機器柱基礎	ホールアンカーF 400×400 L=5500			7		< 10基当り > 抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(同日施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り； 時間的制約の有無=著しく有り； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭) コンクリート 構造物種別=小型構造物； 打設工法=人力打設； コンクリート規格=各種； 養生工の種類=一般養生； 現場内小運搬の有無=無し； 費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠； 構造物の種類=小型構造物；	回	10	t m ³	13.083 3.84
接地工事	D種	箇所		55		< 1箇所当り > 接地設置 作業種別=D種接地； 基礎床掘3m以内の施工による補正=補正あり； 連結式接地棒 φ10×1500mm 連結式接地棒用リード端子 φ10用 8mm ² ×500 600Vビニル絶縁電線 IV 3.5mm ²	極	1	本 本 m	1 1 3

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
分電盤基礎設置工	(夜間)	式		1					
分電盤基礎設置		基		1		基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0；費用の内訳=全ての費用； コンクリート 構造物種別=小型構造物；打設工法=人力打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物；アンカーボルト M12×250L	m ² m ³ m ² 本	1.05 0.325 1.8 4	
接地工事	D種	箇所		1		接地設置 作業種別=D種接地；基礎床掘3m以内の施工による補正=補正あり； 連結式接地棒 φ10×1500mm 連結式接地棒用リード端子 φ10用 8mm ² ×500 600Vビニル絶縁電線 IV 3.5mm ²	極 本 本 m	1 1 1 3	
構造物撤去工		式		1					
防護柵撤去工	(夜間)	式		1					
防護柵撤去(ガードレール)	塗装品 Gr-C-4E	m		3		< 1 m当り > 防護柵撤去工（ガードレール撤去工） 施工区分=土中建込・標準型；規格・仕様=Gr-C-4E； 夜間作業の補正=有；時間的制約を受ける場合の補正=有；	m	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
防護柵(横断・転落防止柵)撤去		m		687		< 1 m当り > 防護柵(横断・転落防止柵)撤去工 施工区分=プレキャストコンクリートブロック建込; 防護柵種類=門型; 支柱間隔=3m; 時間的制約を受ける場合の補正=有; 夜間作業の補正=有;	m	1	
構造物取壊し工	(夜間)	式		1					
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		134		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物; 工法区分=機械施工; 時間的制約の有無=著しく有り; 夜間作業の有無=有り; 低騒音・低振動対策=必要;	m3	1	
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		4		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=鉄筋構造物; 工法区分=機械施工; 時間的制約の有無=著しく有り; 夜間作業の有無=有り; 低騒音・低振動対策=必要;	m3	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		310		舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 3cm	m2		450		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 4cm	m2		3,420		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 5 c m	m2		460		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 10 c m	m2		420		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 15 c m	m2		110		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
排水構造物撤去工	(夜間)	式		1					
暗渠排水管撤去	VU-200	m		4		< 1 m当り > 暗渠排水管 作業区分=撤去；管種別=直管；呼び径=200～400mm；	m	1	
蓋版撤去	グレーチング 蓋 400×500用 T-25 110° 開閉式 再利用	枚		11		< 1 枚 当 り > 蓋版 作業区分=再利用撤去；夜間作業の有無=有り；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40kg/枚以下；時間的制約の有無=著しく有り；施工箇所における補正=無し；	枚	1	
縁石撤去工	(夜間)	式		1					

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック撤去 (A)	180/205×250×60 0 再利用	m		730		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用;	m	1	
歩車道境界ブロック撤去 (B)	180/190×100×60 0 再利用	m		122		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用;	m	1	
歩車道境界ブロック撤去 (C)	180/190×100×60 0 再利用	m		115		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用;	m	1	
歩車道境界ブロック撤去 (D)	180/205～190×250 0～100×600 再利用	m		27		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用;	m	1	
地先境界ブロック撤去 (乗入境界石)	180×100×600 再利用	m		15		< 1 m当り > 地先境界ブロック撤去 再利用区分=再利用;	m	1	
運搬処理工	(夜間)	式		1					
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		134		< 1 m3 当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋)構造物とりこわし; 積込 工法区分=機械積込; DID区間の有無=有り; 運搬距 離(km)(DID区間有無)=14.4km以下; 費用の内訳=全 ての費用;	m3	1	
殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	m3		4		< 1 m3 当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし; 積込 工法区分=機械積込; DID区間の有無=有り; 運搬距 離(km)(DID区間有無)=14.4km以下; 費用の内訳=全 ての費用;	m3	1	

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	アスファルト殻(掘削)	m3		231		< 1 m3 当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込 (騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID 区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間 有)=17.5km 以下；費用の内訳=全ての費用；	m3	1	
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		134		< 1 m3 当り > 処分費 (m3)	m3	1	
殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3		4		< 1 m3 当り > 処分費 (m3)	m3	1	
殻処分	アスファルト殻(掘削)	m3		231		< 1 m3 当り > 処分費 (m3)	m3	1	
現場発生品運搬	横断防止柵、グレーチ ング蓋、VU管	式		1		現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベ-ストラック2t級、吊能力2. 9t；DID区間の有無=有り；片道運搬距離(km)DID有= 20.0km以下； 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベ-ストラック2t級、吊能力2. 9t；	t	6.65	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
運搬費		式		1					
仮設材運搬費		式		1		仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=関東・中部・近畿；片道運搬距離(実数 入力)=3.2 km；製品長区分=12m以内；運搬割増率= 各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；そ の他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み，取卸し(片道分)；	t	※	
技術管理費		式		1					
道路施設基本データ作成費		式		1		道路施設基本データ作成費	工事	1	
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地			
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）- 1； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休2 日の補正=週休2日（閉所）4週8休以上（月単位）			
純工事費		式		1					
現場管理費		式	1			施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）- 1； 緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しな い；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=週休2 日（閉所）4週8休以上（月単位）			
工事原価		式	1						

見積参考資料

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：工事業務（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
一般管理費等		式		1					
業務委託料	道路工事完成図等作成	式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

見積参考資料（別紙）

工事名：国道171号幸電線共同溝PFI事業

この「見積参考資料（別紙）」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料（別紙）」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料（別紙）」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

1. 各種補正

1) 間接工事費

施工時期補正	無し
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

2. その他

歩掛及び単価適用年：入札月

材 料 単 価：土木工事標準積算基準書の通りであり、商品名については回答しない。

施 工 時 間：本工事の作業時間帯は、下表に示すとおりとする。

工種または種別・細別	時間帯	摘要
全ての工種	作業開始 22:00 作業終了 6:00	<input type="checkbox"/> 時間的制約を受ける <input checked="" type="checkbox"/> 時間的制約を著しく受ける

週休2日の補正：4週8休以上（ただし、施工単価・道路施設基本データ作成費、道路工事完成図書等作成費は補正の対象としない）

3. 見積歩掛（工事）

本業務の積算は、「土木工事標準積算基準書」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

① 舗装版破碎積込：アスファルト舗装版 15cmを超え35cm以下 100m²当り

名 称	規 格	単 位	数 量	諸 雑 費	備 考
土木一般世話役		人	1.88		
普通作業員		人	5.25		
バックホリ運転	山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	1.88		NO.01-1単価表
諸雑費(まるめ)		式	1		
日当り施工量		m ² /日	53.2		

※1 運搬作業は、別途計上する。

※2 日当り作業量は、1班当りの数量を記載すること。

NO.01-1単価表 バックホリ運転『山積0.28m³(平積0.2m³)』 1日当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	備 考
運転手(特殊)		人	1	—	
軽油	1.2号	L	37.8	—	
バックホリ(加-ラ)〔超小旋回型・クレー機能付き〕	山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 1.7t吊り	日	1	—	賃料
諸雑費(まるめ)		式	1		

② 管路材設置：埋設部 単管設置(鋼管) 100m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	諸 雑 費	備 考
土木一般世話役		人	1.1	※1	
特殊作業員		人	2.0	※1	
普通作業員		人	3.6	※1	
電線共同溝用鋼管(亜鉛メッキ)	各種	m	105		ロス率含む
諸雑費(率+まるめ)	2 %	式	1		
日当り施工量		m/日	90.9		

※1 諸雑費は、清掃及び導通検査機械(コブレッサ等)の損料及び運転経費の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する

※2 本歩掛には、電線共同溝工における管路材の設置、管の接続労務、管路受台(ハ-サ)の設置労務、管路清掃及び導通試験を含む

※3 管路受台の材料費は別途計上する

※4 日当り作業量は、1班当りの数量を記載すること

③ 管路材設置：埋設部 単管設置(UC-PS管)

100m当り

名称	規格	単位	数量	諸雑費	備考
土木一般世話役		人	7.2	※1	
特殊作業員		人	5.2	※1	
普通作業員		人	24	※1	
電線共同溝用鋼管(電柱立上げ管)	各種	m	100		ロス率含む
諸雑費(率+まるめ)	2 %	式	1		
日当り施工量		m/日	139		

※1 諸雑費は、清掃及び導通検査機械(コブレッタ等)の損料及び運転経費の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する

※2 本歩掛には、電線共同溝工における管路材の設置、管の接続労務、管路受台(入-カ)の設置労務、管路清掃及び導通試験を含む

※3 管路受台の材料費は別途計上する

※4 日当り作業量は、1班当りの数量を記載すること

4. 施工歩掛

以下の独自歩掛の内容について、提示する。

・仮設工—土留・仮締切工—軽量鋼矢板(電線共同溝)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽量鋼矢板設置・撤去		m	2769.0	
軽量鋼矢板購入	LSP- I型(中古品) H=2.0m	t	0.6	
軽量鋼矢板購入	LSP- I型(中古品) H=2.5m	t	0.7	
軽量鋼矢板購入	LSP- I型(中古品) H=3.0m	t	0.8	
鋼製切梁牀 ^ト	鋼製切梁牀 ^ト 450~700(程度) 587日	本	1	
鋼製切梁牀 ^ト	鋼製切梁牀 ^ト 750~1250(程度) 587日	本	2	
鋼製切梁牀 ^ト	鋼製切梁牀 ^ト 1200~1800(程度) 161日	本	4	
汎用腹起し	汎用腹起し 幅110~120 高さ120~130×4000 739日	本	3	
スクラップ	ヘビーH1	t	-2.1	

※は【後日提示】とする。

・仮設工—交通管理工—交通誘導警備員

名称	規格	単位	数量	摘要
交通誘導警備員A	夜間	人日	500	
交通誘導警備員B	夜間	人日	500	

※は【後日提示】とする。

・共通仮設費—運搬費—仮設材運搬費

名称	規格	単位	数量	摘要
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬		t	0.40	
仮設材等の積込み、取卸し費		t	0.40	

※は【後日提示】とする。

5. 業務委託料

業務委託料には、次項の計上項目・数量・歩掛等を算定した業務価格を計上している。

1) 業務委託料（道路工事完成図等作成）

見積参考資料（業務委託料）

業種：設計業務

項目・工種・種別・細別	単位	数量	参考事項		
			名称	単位	数量
道路設計	式	1			
道路設計	式	1			
道路工事完成図等作成	式	1			
平面図	km	1	<1 km当り> 平面図	km	1
直接原価（その他原価除く）	式	1			
その他原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
業務価格					

条件

対象延長：1 km（1,000m）

距離標の計測：計上しない

計上項目条件：平面図「CAD製図基準（案）」に基づく発注図CADデータを貸与する場合

属性入力（レイヤ分け作業含む）

市街地

見積参考資料（材料単価等）

国道171号幸電線共同溝PFI事業

本工事において使用する資機材等のうち単価設定した材料単価等は下記のとおりである。

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業		工種区分		電線共同溝		
	適用工種	名称	規格	単位	単価	備考	条件
電線共同溝工	電線共同溝用合成樹脂管	ECVP管 直管 φ75	本			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	電線共同溝用合成樹脂管	ECVP管 曲管 φ75	本			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	電線共同溝用樹脂管	UC-PS管(差込継手塗覆装鋼管) 呼び径50 曲管 3.585m/本	本			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	パッキン防護板	83mm×100mm t=8mm	枚			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (E樹1型)	950×1900×1100 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	機器据付けブロック	1200×1250×100	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (E樹2型)	950×3000×1100 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (E樹5型)	1000×3000×1800 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (E樹7型)	950×3000×1800 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (接続樹1型)	950×1650×550 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (接続樹2-1型)	630×2000×750 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (接続樹3型)	500(800)×1200×800(120) ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (RT樹3型)	950×3000×1500 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (RT樹4型)	1400×3000×1500 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プラスチックボックス (RT樹5型)	1400×3000×1500 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	首ブロック	φ880×150 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	首ブロック	φ880×200 ポリコンクリート製	個			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	鉄蓋	歩道用 600×1200 受枠含む	組			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	鉄蓋	歩道用 630×2000 受枠含む	組			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	鉄蓋	歩車道兼用 φ750	組			後日通知	現場着単価
電線共同溝工	ハンドホール	600×600×630 蓋含む	基			後日通知	現場着単価

工事名	国道171号幸電線共同溝PFI事業		工種区分		電線共同溝		
	適用工種	名称	規格	単位	単価	備考	条件
道路修繕工		横断防止柵	3段ビームタイプ	m		後日通知	現場着単価
道路修繕工		区画線設置 (4週8休以上)	溶融式手動 自転車マーク 厚1.5mm 排水性舗装有 白	箇所		後日通知	-
道路修繕工		区画線設置 (4週8休以上)	溶融式手動 追突注意(小) 厚1.5mm 排水性舗装有 白	箇所		後日通知	-
道路修繕工		区画線設置 (手間のみ) (4週8休以上)	溶融式手動 矢羽根 750×1500 青	箇所		後日通知	-
道路修繕工		区画線設置 (4週8休以上)	溶融貼付式ビーム幅75cm 白 有 有 厚1.5mm 無	箇所		後日通知	-
—以下余白—							

※本資料は、各資材の単価・規模等に基づき記載しており、当該工事すべての資材を記載するものではない。
 ※公告時点における各資材の単価・規模等に基づき見積参考資料（材料単価等）を明示している。
 そのため、入札予定時期における見積等の結果、対象資機材等の増減が生じる場合がある。

見 積 参 考 資 料

事業名：国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事業務）：調整マネジメント業務（工事段階）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
大阪国道事務所 工務課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 調整マネジメント業務（工事段階）

①業務計画

1式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備		1.00	3.00				

②工事監理

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
工事監理		23.40	117.00				

見 積 参 考 資 料

事業名：国道171号幸電線共同溝PFI事業（工事監理業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
大阪国道事務所 工務課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 工事監理業務

① 業務計画

1式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務計画		1.00		3.00			

② 監理業務

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
監理業務		7.82		78.21			

③ 打合せ

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
打合せ				6.00			

見 積 参 考 資 料

事業名：国道171号幸電線共同溝PFI事業（維持管理業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
大阪国道事務所 工務課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 点検・補修業務

① 日常点検

維持管理業務開始後、年度毎に1回（定期点検を行う年度は日常点検を実施しない）、合計12回を想定している。

1回当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備			1.00	1.00			
通常点検			2.00	2.00			
点検調書作成			2.00	2.00			
報告書作成			2.00	2.00			

② 定期点検

維持管理業務開始後5年目の年度を初回とし、5年に1回、合計3回を想定している。

1回当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備			3.00	6.00			
定期点検			28.00	28.00		56.00	
点検調書作成				5.00		10.00	
報告書作成			3.00	6.00			

2) 台帳作成・管理業務

① 管理台帳作成

1km当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
管理台帳作成		1.10	14.30		42.90		

見 積 参 考 資 料

事業名：国道171号幸電線共同溝PFI事業（維持管理業務）：調整マネジメント業務（維持管理段階）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
大阪国道事務所 工務課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 調整マネジメント業務（維持管理段階）

①計画準備

1式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備	3.00	7.50	22.50	22.50	15.00		

②調整監理

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
調整監理	2.00	3.50	7.92	6.00	26.89		

③打合せ

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
打合せ			7.92				

— 以 上 —